

Simplex

Asset Management

2023年2月期（2022年2月21日～2023年2月20日）決算短信

2023年3月31日

上場取引所 東証

ファンド名 TOPIXブル2倍上場投信
コード番号 1568
連動対象指標 TOPIXレバレッジ（2倍）指数
主要投資資産 公社債
売買単位 10口
管理会社 シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社 URL <http://www.simplexasset.com/>
代表者名 代表取締役社長 水嶋 浩雅
問合せ先責任者 業務本部 山口 節一 TEL (03)5208-5211

有価証券報告書提出予定日 2023年5月19日
分配金支払開始予定日 分配金のお支払いはございません

I ファンドの運用状況

1. 2023年2月期の運用状況（2022年2月21日～2023年2月20日）

(1) 資産内訳 (百万円未満切捨て)

	主要投資資産		現金・預金・その他の資産 (負債控除後)		合計（純資産）	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
2023年2月期	0	(0.0)	12,510	(100.0)	12,510	(100.0)
2022年2月期	0	(0.0)	16,024	(100.0)	16,024	(100.0)

(2) 設定・解約実績

	前計算期間末 発行済口数(①)	設定口数(②)	解約口数(③)	当計算期間末 発行済口数 (①+②-③)
2023年2月期	千口 690	千口 2,730	千口 2,930	千口 490
2022年2月期	千口 350	千口 2,460	千口 2,120	千口 690

(3) 基準価額

	総資産 (①)	負債 (②)	純資産 (③(①-②))	10口当たり基準価額 (③/当計算期間末発行済口数) × 10)
2023年2月期	百万円 13,189	百万円 679	百万円 12,510	円 255,310
2022年2月期	百万円 16,994	百万円 970	百万円 16,024	円 232,230

(4) 分配金

	10口当たり分配金
2023年2月期	円 0
2022年2月期	円 0

(注) 分配金は売買単位当たりの金額

2. 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う変更
② ①以外の変更

無
無

Ⅱ 財務諸表等

(1) 【貸借対照表】

(単位：円)

	第10期 (2022年2月20日現在)	第11期 (2023年2月20日現在)
資産の部		
流動資産		
コール・ローン	14,876,111,303	11,428,726,252
派生商品評価勘定	48,329,625	548,051,025
未収入金	-	203,322,650
前払金	738,350,000	-
差入委託証拠金	1,331,625,000	1,009,260,000
流動資産合計	16,994,415,928	13,189,359,927
資産合計	16,994,415,928	13,189,359,927
負債の部		
流動負債		
派生商品評価勘定	733,822,600	-
前受金	-	620,990,000
未払金	153,885,300	-
未払受託者報酬	4,613,800	2,873,397
未払委託者報酬	64,593,207	40,227,447
未払利息	15,343	3,682
その他未払費用	13,390,147	15,208,218
流動負債合計	970,320,397	679,302,744
負債合計	970,320,397	679,302,744
純資産の部		
元本等		
元本	3,450,000,000	2,450,000,000
剰余金		
期末剰余金又は期末欠損金(△)	12,574,095,531	10,060,057,183
(分配準備積立金)	△1,815,412,028	△1,935,093,326
元本等合計	16,024,095,531	12,510,057,183
純資産合計	16,024,095,531	12,510,057,183
負債純資産合計	16,994,415,928	13,189,359,927

TOPIXブル2倍上場投信（1568）2023年2月期決算短信

(2) 【損益及び剰余金計算書】

(単位：円)

	第10期 (自 2021年2月21日 至 2022年2月20日)	第11期 (自 2022年2月21日 至 2023年2月20日)
営業収益		
受取利息	189,646	210,193
派生商品取引等損益	194,540,500	2,686,002,950
営業収益合計	194,730,146	2,686,213,143
営業費用		
支払利息	3,202,380	3,711,836
受託者報酬	9,148,880	6,083,321
委託者報酬	128,084,172	85,166,267
その他費用	23,551,556	24,930,067
営業費用合計	163,986,988	119,891,491
営業利益又は営業損失(△)	30,743,158	2,566,321,652
経常利益又は経常損失(△)	30,743,158	2,566,321,652
当期純利益又は当期純損失(△)	30,743,158	2,566,321,652
一部解約に伴う当期純利益金額の分配額又は一部解約に伴う当期純損失金額の分配額(△)	-	-
期首剰余金又は期首欠損金(△)	6,425,082,373	12,574,095,531
剰余金増加額又は欠損金減少額	47,156,020,000	49,572,710,000
当期一部解約に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	-	-
当期追加信託に伴う剰余金増加額又は欠損金減少額	47,156,020,000	49,572,710,000
剰余金減少額又は欠損金増加額	41,037,750,000	54,653,070,000
当期一部解約に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	41,037,750,000	54,653,070,000
当期追加信託に伴う剰余金減少額又は欠損金増加額	-	-
分配金	-	-
期末剰余金又は期末欠損金(△)	12,574,095,531	10,060,057,183

(3) 【注記表】

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

デリバティブ取引等の評価基準及び評価方法	株価指数先物取引個別法に基づき、原則として時価で評価しております。
----------------------	-----------------------------------

(会計方針の変更に関する注記)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当期首から適用し、時価算定会計基準第19項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしました。これによる、財務諸表への影響は軽微であります。

(重要な会計上の見積りに関する注記)

第10期(2022年2月20日現在)

財務諸表の作成にあたって行った会計上の見積りが翌計算期間の財務諸表に重要な影響を及ぼすリスクは識別していないため、注記を省略しております。

第11期(2023年2月20日現在)

同上

(貸借対照表に関する注記)

区分	第10期 (2022年2月20日現在)	第11期 (2023年2月20日現在)
1. 信託財産に係る期首元本額、期中追加設定元本額及び期中解約元本額		
期首元本額	1,750,000,000円	期首元本額 3,450,000,000円
期中追加設定元本額	12,300,000,000円	期中追加設定元本額 13,650,000,000円
期中解約元本額	10,600,000,000円	期中解約元本額 14,650,000,000円
2. 受益権の総数	690,000口	490,000口

(損益及び剰余金計算書に関する注記)

項目	第10期 (自2021年2月21日 至2022年2月20日)	第11期 (自2022年2月21日 至2023年2月20日)
1. 分配金の計算過程		
A 当ファンドの配当等収益額	△3,012,734円	△3,501,643円
B 分配準備積立金	△1,651,614,686円	△1,815,412,028円
C 配当等収益額合計(A+B)	△1,654,627,420円	△1,818,913,671円
D 経費	160,784,608円	116,179,655円
E 収益分配可能額(C-D)	-円	-円
F 収益分配金額	-円	-円
G 次期繰越金(分配準備積立金)(E-F)	△1,815,412,028円	△1,935,093,326円
H 口数	690,000口	490,000口
I 分配金額(1口当たり)	-円	-円
2. その他費用	主に印刷費用、上場関連費用及びライセンス料であります。	同左

（金融商品に関する注記）

I 金融商品の状況に関する事項

項目	第10期 (自 2021年 2月 21日 至 2022年 2月 20日)	第11期 (自 2022年 2月 21日 至 2023年 2月 20日)
1. 金融商品に対する取組方針	当ファンドは、証券投資信託として、投資信託約款に規定する運用の基本方針に従い、有価証券等の金融商品に対する投資として運用することを目的としています。	同左
2. 金融商品の内容及び金融商品に係るリスク	当ファンドが運用する金融商品の種類は、有価証券、デリバティブ取引、コール・ローン等の金銭債権及び金銭債務であり、公社債および株価指数先物取引を主要投資対象としております。 これらは、価格変動リスク、為替変動リスク、金利変動リスクなどの市場リスク、信用リスク、及び流動性リスクに晒されております。	同左
3. 金融商品に係るリスク管理体制	委託会社においては、運用関連部門から独立した部門であるリスク管理統括本部が各リスクの管理を行っております。 リスク管理統括本部は、定期的に各部署からモニタリングの結果の報告を受け、必要に応じて関係部署より意見を求め、リスク状況を取りまとめ、その結果を取締役社長に報告します。また、必要に応じて取りまとめ結果を取締役会に報告をします。	同左

II 金融商品の時価等に関する事項

項目	第10期 (2022年 2月 20日現在)	第11期 (2023年 2月 20日現在)
1. 貸借対照表計上額、時価及びその差額	貸借対照表計上額は期末の時価で計上しているためその差額はありません。	同左
2. 時価の算定方法	(1) 有価証券 該当事項はありません。 (2) デリバティブ取引 「注記表（デリバティブ取引等に関する注記）」に記載しております。 (3) 上記以外の金融商品 上記以外の金融商品（コール・ローン等）は、短期間で決済され、時価は帳簿価額と近似していることから、当該金融商品の帳簿価額を時価としております。	(1) 有価証券 同左 (2) デリバティブ取引 同左 (3) 上記以外の金融商品 同左
3. 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明	金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算出された価額が含まれております。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。	金融商品の時価の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等によった場合、当該価額が異なることもあります。

（有価証券に関する注記）

該当事項はありません。

TOPIXブル2倍上場投信（1568）2023年2月期決算短信

（デリバティブ取引等に関する注記）

取引の時価等に関する事項

（株式関連）

第10期（2022年2月20日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引				
	買建	28,136,582,975	—	27,451,090,000	△685,492,975
合計		28,136,582,975	—	27,451,090,000	△685,492,975

第11期（2023年2月20日現在）

（単位：円）

区分	種類	契約額等		時価	評価損益
			うち1年超		
市場取引	株価指数先物取引				
	買建	16,823,258,975	—	17,371,310,000	548,051,025
合計		16,823,258,975	—	17,371,310,000	548,051,025

（注）1. 時価の算定方法

株価指数先物取引の時価については、以下のように評価しております。
原則として計算期間末日に知りうる直近の日の主たる取引所の発表する清算値段又は最終相場で評価しております。
このような時価が発表されていない場合には、計算期間末日に最も近い最終相場や気配値等、原則に準ずる方法で評価しております。

2. 株価指数先物取引の残高は、契約額ベースで表示しております。
3. 契約額等には手数料相当額を含んでおります。
4. 契約額等及び時価の合計欄の金額は、各々の合計金額であります。

（関連当事者との取引に関する注記）

該当事項はありません。

（1口当たり情報に関する注記）

第10期 (2022年2月20日現在)	第11期 (2023年2月20日現在)
1口当たりの純資産額 23,223円	1口当たりの純資産額 25,531円